

2021年度(2年次)  
ユネスコ補助金事業

ESD・国際化ふじのくにコンソーシアムプロジェクト1  
第2回(2年次)シンポジウム



# 義務教育学校を ホリスティックに構想する

～3自治体(川根本町・南砺市・大熊町)の事例を通して～



参加費  
無料

2022年1月25日 火

Zoom開催

受付開始 13:00~ 開会 13:30~ 終了 16:40

- 第1部 あいさつ / 事業全体構想と2年次事業の説明
- 第2部 川根本町,南砺市,大熊町の地域・学校改革の事例報告
- 第3部 モデル開発の枠組みを深掘りする
- 第4部 意見交換

主催：静岡大学・川根本町教育委員会・南砺市教育委員会  
大熊町教育委員会

お問い合わせ先：umezawa.osamu@shizuoka.ac.jp (梅澤収 教授)

お申し込みはこちら

右記申し込みフォームより必須事項をご記入の上、お申し込みください。



# 義務教育学校をホリスティックに構想する

～3自治体(川根本町・南砺市・大熊町)の事例を通して～

**趣旨** 3つの自治体のホリスティックな義務教育学校の構想を検討する

13:30～13:40

1

## 出会のセレモニー

- ◆ あいさつ
- ◆ 事業全体構想と2年次事業の説明



©ESDふじくん

13:40～14:55

2

## 3つの自治体の学校改革報告

- ◆ 川根本町,南砺市,大熊町の地域・学校改革の事例報告



15:00～15:20

3

## モデル開発の枠組みを深掘りする

- ◆ Whole-Institution Approachによるモデル開発の考え方



15:30～16:30

4

## 意見交換

- ◆ 指定討論者
- ◆ 質疑応答

16:40

おわりに

## 事務から依頼と感想



◆ ——— プロジェクト1 ——— ◆

## ESD・SDGsを地域・学校改革とつなぐ

持続可能な開発のための教育(ESD)とは、持続可能な社会の担い手<創り手>を育む教育です。世界にある様々な現代社会の課題を自らの問題として捉え、身近なところから取り組むことにより、それらの解決につながる新たな価値観や行動を生み出すこと、そして、それによって持続可能な社会を創造していくことを目指す学習や活動です。

持続可能な開発目標(SDGs)とは、発展途上国のみならず、先進国自身も取り組む2016年から2030年までの国際的な目標で、持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成されています(ユネスコ国内委員会メッセージ2017より)。

プロジェクト1は、「公立小中学校の組織・カリキュラムのモデル開発を行い、ESD実践の推進と学校改革を両立させる知見を全国に発信する」ことを目的としています。